

## ③ データサイエンスアドバンスプラン

認証状の名称		データサイエンス応用基礎				
<p>(認証の教育目標と社会的意義)</p> <p>情報通信社会の到来によって大量のデータが日々生産・交換され、互いの関係は非常に複雑になっている。そうしたデータの中に潜む有益な情報を見つけ出し、ビジネスに活かして新しい価値やサービスを創出したり、生活に取り入れて健康で豊かに生きることを支援したりする試みが始まっている。本プランはデータサイエンスの基本要素となる科目を学ぶことにより、数理的思考とデータ分析に基づいて様々な問題を解決できる人材を育成する。</p>						
<p>(認証取得後の目的・目指せる道・資格等)</p> <p>①データを収集・分析し、数理的思考に基づいて社会の様々な課題を解決するためにデータサイエンスを適用できること。 ②データサイエンティスト、アクチュアリー、データアナリストとして、様々な専門領域で活躍するときに役立つ知識を理解すること。</p>						
<p>(認証取得条件)</p> <p>閉講科目を含む授業科目群42単位の中から、必修科目8単位、選択必修科目4単位以上(ただし、同一添え字のある科目の中から1科目以上選択すること)を含めて12単位以上を修得すること。</p> <p>◎:必修科目、○:選択必修科目(○a、○bなど同一添え字の中から1科目以上履修すること)、無印:選択科目 ※「備考」欄にA、B等の表記がある科目については、同じ記号の科目を複数修得していても、認証取得条件として認められるのは1科目分の単位数のみです。</p>						
授業科目群の構成						
	科目名	メディア	分野もしくは 専攻名	単位数	必修 科目等	備考
1	データの分析と知識発見('20)	T	情報/心理と教育 社会と産業	2	◎	
	データの分析と知識発見('16)					
	データからの知識発見('12)					
2	データ構造とプログラミング('18)	T	情報	2	◎	
	データ構造とプログラミング('13)					
3	情報セキュリティと情報倫理('18)	T	情報	2	◎	
	情報のセキュリティと倫理('14)					
4	AIシステムと人・社会との関係('20)	R※	情報	2	◎	
5	統計学('19)	R	自然と環境 心理と教育 情報	2	○a	
	統計学('13)					
	統計学('09)					
6	心理学統計法('21)	T	心理と教育/情報	2	○a	A
7	社会統計学入門('18)	R	社会と産業	2	○a	
	社会統計学入門('12)					
8	データベース('17)	T	情報	2	○b	
9	マーケティング('21)	T	情報/社会と産業 心理と教育	2	○b	B
10	ユーザ調査法('20)	T	情報/心理と教育	2	○b	
	ユーザ調査法('16)					
	情報機器利用者の調査法('12)					
11	サプライチェーン・マネジメント('21)	T	社会と産業	2	○b	
12	自然言語処理('19)	R	情報	2	○b	
	自然言語処理('15)					
13	アルゴリズムとプログラミング('20)	R	情報	2	○b	
	アルゴリズムとプログラミング('16)					
14	数値の処理と数値解析('14)	R	情報	2		
15	経営情報学入門('19)	T	社会と産業/情報	2		C
16	問題解決の数理('21)	T※	情報	2		
	問題解決の数理('17)					
17	解析入門('18)	R	自然と環境	2		
	解析入門('14)					
18	情報ネットワーク('18)	○	情報	2		
	情報ネットワーク('14)					
<p>(閉講科目) 以下の科目の単位を修得済みの場合、科目の有効期限(開講年度から10年間)までは認証取得条件として認めます。 (冊子「2021年度版 科目群履修認証制度(放送大学エキスパート)」について～認証取得の手引き～」6、7ページの「授業科目群の見方(全認証プラン共通)」参照)</p>						
19	心理統計法('17)		心理と教育 人間と文化	2	○a	A
20	マーケティング論('17)		社会と産業	2	○b	B
21	ケースで学ぶ現代経営学('12)		社会と産業	2		C

[注]T※は放送授業ですが、テレビによる放送は行わず、インターネット配信限定で視聴する科目です。

[注]R※は、通信指導の提出はWebのみでの受付となります。冊子での問題送付はありません。